

(令和6年1月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	1月の総入荷量は、中旬以降に朝晩の冷え込みが強くなり生育は緩やかになったため、前年同月比で5%下回った。総取扱金額は、品薄感なく多くの品目において単価が上向かなかったため、7%下回った。今後は、暖冬の影響で生育が前進している産地もあることから、入荷に端境が生じる品目が出てくることが予想される。 2月は、近郷野菜では、かぶや丸だいこん等の漬物商材が終盤となり、はたけ菜が最盛期を迎える。果実では、せとかや不知火等の中晩柑類が増える。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で5%下回ったが、単価は4%下回った。 根菜類の入荷量は長だいこんの入荷が前月に前倒しとなったため前年同月比で14%下回ったが、単価は3%下回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で5%上回り、単価は15%下回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で4%下回ったが、単価は需要が低かったため10%下回った。 土物類の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は17%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は6%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は5%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で14%下回り、単価は28%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で6%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 メロン類の入荷量は前年同月比で28%下回り、単価は11%上回った。

とまと	熊本を中心に福岡、佐賀、三重、京都などからも入荷した。入荷量は下旬に向けて気温が下がり生育が停滞したため前年同月比で10%下回ったが、単価は7%下回った。
ピーマン	宮崎、高知を中心に鹿児島、韓国、沖縄などからも入荷した。入荷量は前年同月比で7%下回ったが、単価は需要が低かったため16%下回った。
【土物類】 ばれいしょ (メークイン含む)	北海道を中心に長崎、鹿児島、徳島からも入荷した。入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。
たまねぎ	北海道を中心に静岡、兵庫、中国、長崎からも入荷した。入荷量は前年同月比で13%下回り、単価は49%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に福岡、大分、静岡、愛媛などからも入荷した。入荷量は生育不良により小玉傾向となったため前年同月比で１３％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
伊予かん	愛媛を中心に和歌山からも入荷した。入荷量は前年同月比で１８％下回り、単価は６％上回った。
富士 (サン富士含む)	青森を中心に岩手、長野、秋田からも入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は２９％上回った。
王林	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で２３％下回り、単価は２３％上回った。
いちご	福岡、熊本、大分、佐賀、長崎などから入荷した。入荷量は前年同月比で６％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
アールスメロン	静岡、高知から入荷した。入荷量は前年同月比で３３％下回り、単価は１３％上回った。